

機械

ハイテクプラザ 電子・機械技術部
令和6年度採用

私は

挑戦すること

が好き！



わたしを表すKEYWORD

一児の父

5歳の女の子の父親として育児、家事、仕事に奮闘中です。

子供が急に体調を崩した時、怪我をした時にも子育て・家族看護休暇を使用し、積極的に育児に参加しています。

山登り

友人に誘われ山登りを始めました。平田村にある蓬田岳を登ってきました。山頂の景色は美しく疲れが吹き飛びました。

矢吹町

機械加工

筋トレ

県内企業のモノづくりを支える仲間がそこにいる！

福島県ハイテクプラザは、県内企業のモノづくりに関する技術的な課題解決を支援するための試験研究機関です。抱える問題は企業によって異なり、日々のスキルアップは仕事をしていく上で欠かせません。

課題解決ができたとき直接感謝されることは大きなやりがいです。



↑ X線CTへのワークセッティング作業の様子

県職員を目指した理由

私は県内民間企業を経験して入庁しました。

民間企業は利益優先になりがちで本当に困っている人たちを救えないと感じ、自身の経験・知識が活かせる、県内の技術支援ができる技術系公務員を志望しました。

職場の雰囲気について

非常に風通しが良い職場です。皆さん親切で、仕事の悩みやプライベートの悩みも親身になって聞いてくれます。

悩んでいるときは周りの方から声をかけていただくことが多く、気にかけてくれていると感じることが多いです。

とある一日のスケジュール

- 8:30 始業
- 9:00 メールチェック
- 10:00 機器使用の対応
- 12:00 昼休み
- 13:00 企業とWebでの技術相談
- 16:00 相談内容の確認・打ち合わせ
- 17:00 メールチェック
- 17:15 終業

入庁前と後のギャップ



↑5軸マシニングセンタを操作する様子

ハイテクプラザは技術的な課題問題を解決する研究機関のため、日々の勉強が必要だと考え入庁したので、私の場合、ギャップはほとんどありませんでした。

多種多様な問題の相談が来るので自身の知見が狭かったことを痛感する日々です。勉強をして知見を広めていくのが仕事なので、その様な意識を持つ必要があると感じています。

この1年間で、印象に残った経験

3次元CADを初めて利用する企業に技術支援で操作支援を行ったことです。

私は民間企業で3次元CADを使用しており知見がありました。操作説明をするときは実際に自分が苦労してきたことや、やりやすい方法を伝えることを心掛けました。

技術支援後に「理解できました」と感謝されたときは、自分の経験・知識が役にたったと実感でき、印象に残る経験になりました。



↑学生へCAD/CAMの使い方を説明する様子

福島県職員として実現したいこと、目標としていること

私は県内企業のモノづくりの技術的な課題解決を通して福島県内の雇用促進を実現したいと思っています。県内企業の技術力が向上すれば製品開発が活発になります。製品開発が活発になれば新製品が開発されます。そうすれば売上が増え、技術者・労働者の確保につながると考えています。この思いを胸に日々業務に取り組んでいます。

(令和7年3月現在)